

エクボ グループ



分子音

プレスリリース
参考情報 1
～技術概要～

2026.2.18

1. 本資料について

表題技術の技術内容について、技術的な考え方と内容を整理し、簡単に纏めたものである。

2. 本技術が扱う対象

分子や物質が持つ構造情報。具体的には、以下のような一次的な構造情報。

－分子構造

－分子配列（例：アミノ酸配列）

－物質を構成する要素の配列情報

これらは通常、化学記号や数値列として表現される。

3. 技術の基本的な考え方

- ・分子や物質の構造情報を、周波数へ展開し、時間順の配列として再表現する点に特徴がある。
- ・構造を構成する各要素に対し、その要素に対応する物理量を選定し、それを一定の規則に基づいて周波数値へ対応付ける。
- ・これにより、構造情報は「周波数の並び」として表現され、その周波数の並びを、構造情報の順序に従って時間軸上に配置することで、構造情報は時間軸に展開された配列として扱える。
- ・このように、本技術は、分子や物質の構造情報を、時間構造を持つ表現へ変換することが可能になる。

4. 変換プロセスの手順

- 1) 分子や物質の構造情報を入力。
- 2) 構造を構成する各要素について、対応する物理量を選定。
- 3) 選定した物理量を、周波数値に対応付け。
(周波数展開の意)
- 4) 周波数値を一定のルールに基づいて正規化。
- 5) 正規化された周波数を、構造情報の順序に従って時間順に配置。
- 6) 周波数配列として出力。

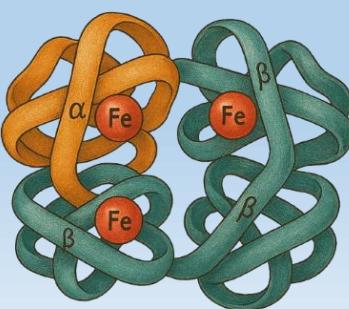
- この変換により、構造情報は順序と時間構造を持つ周波数配列として表現される。
- 周波数配列は、音が直感的に把握しやすいが、他の物理的表現形式にも変換可能である。

5. 参考資料

公開特許公報：JPA 2015-210481

発明の名称：構造情報の変換方法およびその出力
方法公開年：2015年

本技術のイメージ図 (公開特許 図15より)



ヘモグロビンタンパク質

構造解析

アミノ酸系列データベース

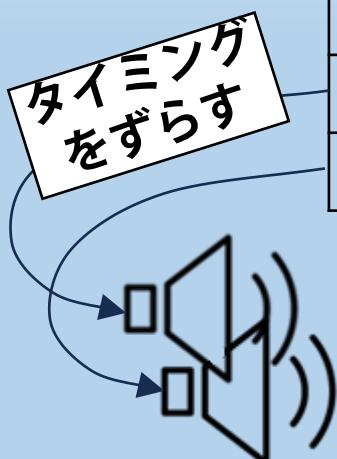
M V L S P A D K T N V K A
A W G K V G A · · · · Y H

4△△Hz, 3△△Hz, 3△△Hz

周波数
変換

ラ	ファ	ソ	ミ	・・
440Hz	349Hz	392Hz	330Hz	・・
4△△Hz	3△△Hz	3△△Hz	3△△Hz	・・

近似



楽譜化



エクボ グループ



分子音

プレスリリース
参考情報 2

～ベクトルポテンシャル～
への適用事例の紹介

2026.2.18

ミニトマト育成実験の事例



ミニトマト種子17粒を蒔いた
腐葉土を入れた鉢を2個準備

実験群：タンパク質の「音楽」のベクトルポテンシャル
発生環境で育成

対照群：何もしない環境下で育成

実験群

対照群

発芽10粒

8日目



トロイダルコイル
(ベクトルポテンシャル発生)

発芽3粒



発砲スチロール枠



29日目

平均高165mm



平均高67mm